

議事録

1. 件名：「核燃料輸送容器のスラップダウン落下試験に係る影響評価手法の精緻化(その2)」に係る打合せ
2. 日時： 令和2年11月9日(月) 15:00～17:00
3. 場所： 原子力規制庁 会議室(web会議)
4. 出席者： 原子力規制庁
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門
北村主任技術研究調査官、永井技術研究調査官

三菱重工業株式会社
パワードメイン 原子力事業部 機器設計部 主任 他4名
5. 要旨：
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、核燃料輸送容器のスラップダウン落下試験に対する構造健全性評価手法の適用性を確認するため、核燃料輸送容器のスラップダウン落下試験に係る安全研究を、平成29年度から令和2年度にかけて実施している。当部門では、本安全研究の一環として、三菱重工業株式会社と請負契約を締結し、「令和2年度核燃料輸送容器のスラップダウン落下試験に係る影響評価手法の精緻化(その2)」事業を実施している。
今回、当事業に係る第8回打合せを実施した。内容は下記のとおり。
 - ① 落下試験のパラメータスタディ解析について、アワーグラスエネルギー制御の対応策の完了及び衝撃緩衝体内木材の木材補正係数について協議した。
 - ② 12/4に開催予定の本事業に係る有識者会議について協議した。
 - ③ 作業の全体工程を確認した。
6. その他
特になし